

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2018年3月29日～2018年4月4日)

平成 30 年(2018 年)4 月 6 日

H	E	A	D	L	I	N	E	S
<p>政治</p> <p>ドゥダ大統領による共産主義時代の軍将校の降級に関する法案への署名拒否 ジェジチャク外務副大臣の解任 全国裁判所評議会(KRS)非公式会合の開催 モラヴィエツキ首相ら、NATO大隊を視察 ザチャロバ露外務省報道官、ポーランドのパトリオットミサイル購入はロシアの脅威と発言 ロシア、ポーランド人外交官4名を追放 スカパロッチ米欧州軍司令官、ポーランド訪問 露、バルト海でミサイル射撃演習</p>								<p>【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります。問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書、在外投票、旅券、戸籍、国籍関係の届出についてもどうぞ。</p>
<p>治安等</p> <p>イースター休暇中の交通安全統計 ポーランド警察、モルドバ警察とテロ対策共同訓練を実施 パリ同時多発テロ事件関係者とされるモロッコ人に対する裁判が開廷 インフラ省、航空機に対する危険行為の撲滅を目的とした社会キャンペーンを開始 極右団体、ウッチ市内で外国人雇用企業のボイコットを主張するビラを配布 検察、外国人労働者の人身売買に関与したポーランド人2人を拘束 中東等からの不法移民あっせん犯罪組織の摘発</p>								
<p>経済</p> <p>政府、移民政策を今年半ばまでに策定 中央空港建設計画 2017年の公債残高 2017年の財政赤字及び一般政府債務残高 3月の消費者物価指数 国営精銅企業 KGHM 社における経営陣再編手続先延ばし EUの海外派遣労働指令(案)の影響 原発建設投資に係る政府基金の関与 小規模コジェネレーション支援メカニズム法制化に関する検討</p>								
<p>大使館からのお知らせ</p> <p>長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意 欧州でのテロ等に対する注意喚起 「たびレジ」への登録のお願い パスポートダウンロード申請書の御案内 平成30年度前期分教科書の配布に関する御案内 大使館広報文化センター開館時間 文化行事・大使館関連行事</p> <p>在ポーランド日本国大使館 ul. Szwoleżerów 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000 http://www.pl.emb-japan.go.jp</p>								

政 治

内 政

ドゥダ大統領による共産主義時代の軍将校の降級に関する法案への署名拒否【3月30日】

30日、ドゥダ大統領は、共産主義時代の軍将校の降級に関する法案への署名を拒否し、下院に差し戻すと表明した。同法案は、救国軍事会議(WRON, 1981年～83年の戒厳令の下で統治を行った行政機関)の全メンバーの自動的な降級及び1943年～90年にポーランド軍に従事し、国家への背信行為を行った将官の降級措置を可能としている。ドゥダ大統領は、同法案において、大統領による対象者の公示後に即座に降級となり説明機会が与えられておらず、降級決定に対する不服申し立て手段も欠如しており、権利保護の可能性が奪われている点に同意しない旨述べ、また、既に死亡した将官の利益を代表する人物及び機関がない点についても問題視した。

ジェジチャク外務副大臣の解任【4月3日】

3日、当地メディアは、チャプトヴィチ外相がジェジチャク外務副大臣を解任し、同副大臣ポストを廃止した旨報じ、同日、外務省は、チャプトヴィチ外相が新たにパピエシュ外務次官(Mr. Andrzej Papierz)を任命したと発表した。同外務次官は、ジェジチャク副大臣の所掌分野であったパブリック・ディプロマシー及び在外ポーランド人関係に加え、安全保障及び領事分野を担当する。

全国裁判所評議会(KRS)非公式会合の開催【4月4日】

4日、全国裁判所評議会(KRS)の非公式会合が開催された。会合後、KRS評議員15名は、ゲルストルフ最高裁長官がKRS初回会合の招集を行わない事態を受け、同長官に対し同会合の早期招集を要請する書簡を送付した。

外交・安全保障

モラヴィエツキ首相ら、NATO大隊を視察【3月30日】

30日、モラヴィエツキ首相及びブワシュチャク国防大臣は、北東部のギジツコに展開中のNATO大隊を視察し、ポーランド及びNATOの安全保障の強化へ協力し貢献していることに感謝の意を伝えた。

ザチャロバ露外務省報道官、ポーランドのパトリオットミサイル購入はロシアの脅威と発言【3月30日】

30日、ザチャロバ・ロシア外務省報道官は、ポーランドが国防費を増加し、パトリオットミサイルを購入する等軍を近代化し、兵士を増加させ、NATOがミサイル基地をポーランド国内に建設する等プレゼンスを強化しているのは、中東欧の不安定化とロシアの安全保障への脅威を招いていると述べた。

ロシア、ポーランド人外交官4名を追放【3月30日】

3月30日、ポーランド外務省は、マルチニャク駐露ポーランド大使が露外務省に召喚され、外交官4

名をペルソナ・ノングラータとして4月7日までに露領域から退去するよう通告されたことを明らかにし、同措置が露外交官4名のポーランドからの追放に関する3月26日の決定を受けたものであると発表した。

スカパロッチ米欧州軍司令官、ポーランド訪問【4月3～4日】

3～4日、米欧州軍司令官スカパロッチ大將は、シチェチンの多国籍軍団司令部及びベモヴォピスキエのNATO大隊を視察した。シャトコフスキ国防次官は、シチェチンにて、スカパロッチ大將と会合を行い、地域の安全保障情勢等を意見交換した。

露、バルト海でミサイル射撃演習【4月4～6日】

4～6日、露バルト艦隊は、フリゲート艦1隻、コルベット艦3隻が参加するミサイル射撃演習を、バルト海のラトビア沖、スウェーデン沖、ポーランド沖の3カ所において実施した。同海域は、民間航空機、船舶の航行地域であり、一部船舶は航路を変更した。

治 安 等

イースター休暇中の交通安全統計【4月2日】

国家警察本部によると、3月28日から4月1日までの期間中、ポーランド全土で180件の交通事故が発生し、17人が死亡した。また、飲酒運転については、650件が摘発された。イースター休暇中は、旅

行や帰省等で交通量が増加することから、警察は主要幹線道路でパトロールや取締りを強化している。

ポーランド警察、モルドバ警察とテロ対策共同訓練を実施【4月2日】

国家警察本部は、東方パートナーシップに基づく警察協力プログラムの一環として、フランス警察の支援の下、アルメニア警察と、大規模イベントに対するテロ脅威への対処を目的とした共同訓練を実施した旨を発表した。ポーランドは、EUからの資金援助を受け、東方パートナーシップに基づく警察協力プログラムを実施しており、モルドバ以外にも、アルメニア、アゼルバイジャン、ベラルーシ、ジョージア、ウクライナと組織犯罪対策に係る共同訓練を実施している。

パリ同時多発テロ事件関係者とされるモロッコ人に対する裁判が開廷【4月3日】

3日、カトヴィツェ地方裁判所は、2016年9月にリブニクで拘束されたモロッコ人・ムラド・Tに対する裁判を開廷した。ムラド・Tは、パリ同時多発テロ事件首謀者のアブドゥルハミド・アバウード(モロッコ系ベルギー人)と親しい関係にあった「イラク・レバントのイスラム国」(ISIL)戦闘員で、欧米諸国でのISILのリクルート活動にも関与していたと見られている。公判で、同人は、ISIL構成員ではない旨主張している。

インフラ省、航空機に対する危険行為の撲滅を目的とした社会キャンペーンを開始【4月5日】

5日、ヴィルド・インフラ副大臣は、警察などと共同で、着陸態勢に入った航空機にレーザー光線を照射するなどの危険行為の撲滅を目的とした大規模啓発キャンペーンをポーランド全土で開始すると発表した。当地の民間機の航空管制を管轄する民間航空局(ULC)によれば、2017年中、ポーランド全土で、航空機に対するレーザー光線照射事案は136件発生しており、前年比30%増となった。ポーランドでは航空機にレーザー光線を照射する等の危険行為は犯罪とみなされており、1年以下の禁錮が科せられる可能性がある。

極右団体、ウッチ市内で外国人雇用企業のボイコットを主張するビラを配布【4月5日】

当地の極右団体ストーム・トルーパー(Szturmowcy)は、ウッチ市内で、ウクライナ、バングラデシュ、ウズベキスタン、モルドバ等から国内に流入した労働者を雇用する企業のボイコットを呼びかけるビラを配布した。ストーム・トルーパーは、外国人労働者がポーランド人の雇用を奪っていると主張しており、当地の大手外国人労働者受入組織Laborへの批判を強めている。

検察、外国人労働者の人身売買に関与したポーランド人2人を拘束【4月5日】

検察は、ポーランド国内でウクライナ人及びベラルーシ人を強制労働させていた容疑でポーランド人2人を公訴した。両人は、高給で安定した職が得られるなどと被害者を勧誘し、被害者の法的不足につけ込んでワルシャワ市内の飲食店等で劣悪な労働環境での長時間労働を強制していた。被害者は数十人にのぼるとみられており、容疑者には3年から15年の禁錮が求刑される見込み。

中東等からの不法移民あっせん犯罪組織の摘発【4月5日】

国境警備隊は、ドイツ、チェコ、スロバキア、オーストリアの関係当局と共同で、イラク、イラン、シリアからの不法移民をトルコからブルガリア、ルーマニア、ハンガリー、スロバキアを経て、チェコ若しくはポーランドからドイツに送り込んでいた国際犯罪組織を摘発した。同組織はトルコ人、ブルガリア人、ポーランド人等で構成され、3月26日にポーランドで拘束されたブルガリア人2人を含む10人が関係各国で拘束されている。

経 済

経済政策

政府、移民政策を今年半ばまでに策定【30日】

クフィエチンスキ投資開発大臣は、報道陣に対し、今年半ばまでに包括的な移民政策を策定予定であると述べた。同大臣は、労働人口の深刻な減少が懸念されており、2030年には雇用主はポストの5分の1について従業員の確保が困難になるとの専門家の見通しに言及した上で、ポーランドは既に国外からの労働力を必要としており、将来的にニーズは更に増すであろうと述べた。新たな移民政策は、経済が必要とする分野への国外からの労働人口を確保すると同時に、ポーランド人の海外移住を防ぐことを意図しているとされる。

中央空港建設計画【4日】

ヴィルド・インフラ副大臣兼中央空港事業担当政府代表は、今年中に中央空港(通称「連帯空港」)の建築コンセプトを決定する予定と述べた。同副大臣は、ポーランドの業者が同空港建設を担うかは未定であり、海外パートナーの参加も歓迎するが、投資自体のみならずポーランド経済に裨益することが必要と強調した。空港の設計及び建設は、2020年に開始され、2027年冬の開港を予定している。

マクロ経済動向・統計

2017年の公債残高【30日】

財務省によると、2017年の公債残高は前年比約34億ズロチ減の9,618億ズロチで、対GDP比は48.5%と、対前年比3.4%減となった。

2017年の財政赤字及び一般政府債務残高【3日】

中央統計局(GUS)は、推計値として、2017年

の財政赤字の対GDP比を1.5%(前年は2.3%)、一般政府債務残高の対GDP比を50.6%(前年は54.2%)と発表した。

3月の消費者物価指数【4日】

中央統計局(GUS)の速報値によれば、3月の消費者物価指数(CPI)は対前年同月比1.3%増、対前月比0.1%減となった。

ポーランド産業動向

国営精銅企業 KGHM 社における経営陣再編手続先延ばし【30日～5日】

3日、国家研究開発機関(NCIB)のミスレツキ現代技術チーム長は、国営精銅企業 KGHM 社の経営陣再編に反対し、同社取締役を辞任した。また、報道によれば、KGHM 社の新経営陣の募集に対して、新社長に30名、海外資産担当副社長候補者に20名の応募があったが、監査理事会は候補者との面接後に手続取消しを決定し、6月に延期した。

EUの海外派遣労働指令(案)の影響【3日】

専門家によれば、欧州委が提案した海外派遣労働指令では、雇用者が他のEU加盟国に派遣した労働者の賃金等が派遣受入国の同労働者の各種手当と同じ扱いになるため、労務コスト上昇に繋がるおそれがある。同指令は、6月21日に欧州理事会に諮られ、その後、欧州議会で投票がなされる予定。

エネルギー・環境

原発建設投資に係る政府基金の関与【29日】

26日、国営投資企業PER関係者は、政府の同意を前提に、原発建設に対し数十億ズロチを投資する可能性があるとした。政府は2040年～2045年に3基の原子力発電所建設を予定しており、1基当たりの経費を230～250億ズロチと試算している。

小規模コジェネレーション支援メカニズムの法制化に関する検討【29日】

エネルギー省は、小規模コジェネレーション(最大1MW)支援を目的に、新たな法整備を検討している。首相府関係者は、ペイ・アズ・ビッド方式(応札価格から安価順に確定)でのオークション制度でコジェネレーションに対し新たな投資インセンティブを生み出し得ると述べた。同法案は、2018年第2四半期の採択をめどに準備が進められている。

大使館からのお知らせ

長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意

最近、ドイツ以外のシェンゲン協定域内国に長期滞在を目的と申告した邦人が、経由地であるドイツでシェンゲン協定域内への入国審査を受ける際に入国管理当局から(1)最終滞在予定国の有効な滞在許可証、(2)ドイツ滞在法第4条のカテゴリーD査証(ナショナル・ビザ)、又は(3)同D査証に相当する滞在予定国の長期滞在査証の提示を求められ、これを所持していないために入国を拒否される事例が発生しております。

このため、現地に到着してからの滞在許可証取得を予定し、最初にドイツ入国を予定している場合には、注意が必要です。

ドイツ以外の国では同様の事例は発生していませんが、シェンゲン協定域内国での長期滞在を目的に渡航する場合には、滞在国及び経由国の入国審査、滞在許可制度の詳細につき、各国の政府観光局、我が国に存在する各国の大使館等に問い合わせるなどし、事前に確認するようにしてください。詳しくは下記リンク先を御覧ください。

http://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/oshirase_schengen_2.html

欧州でのテロ等に対する注意喚起

欧州では、2017年もスペイン・フランス等で新たなテロが発生しており、今年も引き続き更なるテロの発生が懸念されます。

観光客やイベント等を標的とするテロに警戒する必要があることに加え、イベント等の警備のため手薄となった他の都市でのテロの実行も懸念されます。以上を踏まえ、以下のテロ対策をお願いします。

(1) 外務省が発出する海外安全情報及び現地報道等で最新の治安情勢等の関連情報の入手に努めるとともに、日頃から注意を怠らないようにする。

(2) 以下の場所がテロの標的となりやすいことを十分認識する。

観光施設、観光地周辺の道路、記念日・祝祭日等のイベント会場、レストラン、ホテル、ショッピングモール、スーパーマーケット、ナイトクラブ、映画館等人が多く集まる施設、教会・モスク等宗教関係施設、公共交通機関、政府関連施設(特に軍、警察、治安関係施設)等。

(3) 上記(2)の場所を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる、できるだけ滞在時間を短くする等の注意に加え、その場の状況に応じた安全確保に十分注意を払う。

(4) 現地当局の指示があればそれに従う。特にテロに遭遇してしまった場合には、警察官等の指示をよく聞き冷静に行動するように努める。

(5) 不測の事態の発生を念頭に、訪問先の出入口や非常口、避難の際の経路、隠れられる場所等についてあらかじめ入念に確認する。

詳しくは下記リンク先を御覧ください。

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>

「たびレジ」への登録のお願い

3か月以上海外に滞在する方は在留届の提出を、3か月未満の場合は「たびレジ」への登録を必ず実施してください。渡航先の最新安全情報や、緊急時の大使館又は総領事館からの連絡を受け取ることができます。また、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。

下記リンク先から「たびレジ」に登録することができます。

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

パスポートダウンロード申請書の御案内

2017年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、御自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先を御覧ください。

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/download/top.html>

平成30年度前期分教科書の配布に関する御案内

在ポーランド日本国大使館では、ポーランド在住で平成29年9月末日までに大使館に「在留届」を提出している邦人子女を対象に、日本の小学生、中学生用の教科書(平成30年度 前期分)を配布しています。御希望の方は『教科書申込書』を入手の上、該当事項を記入して、下記の申込先に送付してください。ワルシャワ日本人学校の児童、生徒(入学予定者を含む)については、同校を通じて配布いたしますので、申し込みの必要はありません。なお、教科書自体は無償ですが、郵送による受取りを希望される方については、大使館(ワルシャワ市)から「着払い」にて送付するため送料が発生します。あらかじめ御了承ください。

教科書申込書のリンク:<http://www.pl.emb-japan.go.jp/konsulat/kyoukasho30.1semester.pdf>

申込先: cons@wr.mofa.go.jp (Eメールの場合)

22-696-5006 (FAXの場合)

ul. Szwoleżerów 8, 00-464 Warszawa (郵送の場合)

【お知らせ】大使館広報文化センター開館時間

月曜日 9:00 - 19:00 火曜～金曜日 9:00 - 17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22-584- 73 00 , E メール: info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

文化行事・大使館関連行事

【開催中】日本人形展: 魔法・民族・神話【3月3日(土)~6月3日(日)】

グダンスク市にて、グダンスク国立博物館民族誌部主催による『日本人形展: 魔法・民族・神話』が開催されます。日本人形、ひな人形、こけし、だるまなどが展示中です。

開催場所: グダンスク市 (ポモージェ県), グダンスク国立博物館民族誌部, ul. Cystersów 19

詳細: <https://www.facebook.com/MuzeumNarodoweGdansk/>

【予定】展示会: 「文化と遊ぶ: アジアの伝統的なゲーム・遊び」【4月7日(土)~6月30日(土)】

ワルシャワ市にて、アジア太平洋博物館主催による展示会『文化と遊ぶ: アジアの伝統的なゲーム・遊び』が開催されます。お手玉、けん玉、竹とんぼ、あやとり、手まり、こま、将棋などが展示されます。

開催場所: ワルシャワ市, アジア太平洋博物館, ul. Solec 24

詳細: <http://www.muzeumazji.pl/>

【予定】ポフシン植物園の日本月間【4月8日(日)~5月5日(日)】

ワルシャワにて、ポーランド科学アカデミー植物園・ポフシン生物多様性保全センター主催による『ポフシン植物園の日本月間』が開催されます。日本の写真展、日本料理の講演会、折り紙・書道・苔玉のワークショップ等が予定されています。チケット: 10~12 PLN。

開催場所: ワルシャワ市 (マゾフシェ県), ポーランド科学アカデミー植物園・ポフシン生物多様性保全センター, ul. Prawdziwka 2

詳細: <http://www.ogrod-powsin.pl/o-nas/kalendarz/miesiac-japonski-w-ogrodzie-botanicznym-w-powsinie>

【予定】「日本の隠れた名所」観光セミナー【4月9日(月)18:00~】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、日本を自転車で観光したポーランド人柔道家による体験談と観光スポットなどの紹介を行います(ポーランド語のみ)。入場は無料です。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22 584 73 00 , 住所: Al. Ujazdowskie 51(4階), Warszawa)

参加申込: info-cul@wr.mofa.go.jp

【予定】第8回松涛館空手連盟欧州選手権大会【4月13日(金)】

ドンブロヴァ・グルニチャ市にて、学生スポーツクラブ「ローニン」主催による『第8回松涛館空手連盟欧州選手権大会』が開催されます。

開催場所: ドンブロヴァ・グルニチャ市 (シロンスク県), 「セントラム」スポーツホール, ul. Aleja Róż 3

詳細: <http://www.ronin.pl>

【予定】第6回日本文化祭・全ポーランド美術コンクール「マンガファクトリー」【4月20日(金)~27日(金)】

ティヒにて、ティヒ市第2青少年文化会館主催による『第6回日本文化祭・全ポーランド美術コンクール「マンガファクトリー」展示会』が開催されます。書道、生け花、茶道、武道デモンストレーションなどが予定されています。

開催場所: ティヒ市 (シロンスク県), ティヒ市第2青少年文化会館, ul. Elfów 56

詳細: <http://www.mdk2tychy.pl/>

【予定】第12回ウッチ大学日本文化デー【4月21日(土)~22日(日)】

ウッチ市にて、八雲琴クラブ協会主催による『第12回ウッチ大学日本文化デー』が開催されます。日本についての講義、武道デモンストレーション、ワークショップ、展覧会などが予定されています。

開催場所: ウッチ市 (ウッチ県), ul. Rewolucji 1905 r. 39/41

詳細: <http://yakumo-goto.pl/index.html>

【予定】日本デー【4月24日(火) 10:00~14:00】

ザブジェ市にて、ザブジェ市第14中・高等学校主催による『日本デー』が開催されます。日本に関するパフォーマンス、日本知識クイズ、美術コンクールなどが予定されています。

開催場所: ザブジェ市 (ドルノシロンスキェ県), 第14中・高等学校, ul. Korczoka 98

詳細: <http://www.zso14.eu/>

【予定】ピウスツキ兄弟: ペンと銃で独立へ【4月27日(金)~11月11日(日)】

ジョリ市にて、ジョリ市立博物館主催による『ピウスツキ兄弟: ペンと銃で独立へ』が開催されます。プロニスワフ・ピウスツキによるアイヌ研究にフォーカスしたピウスツキ兄弟に関するイベントです。アイヌ文化及び日ポ関係史を紹介した展覧会、ワークショップ、講演、パフォーマンスなどが予定されています。

開催場所: ジョリ市 (シロンスキェ県), ジョリ市立博物館, ul. Muzealna 1/2

詳細: <http://muzeum.zory.pl/>

【予定】百射会【5月12日(土)】

ミシャドウォオ市にて、ポーランド弓道連盟主催による「百射会」が開催されます。

開催場所: ミシャドウォオ市 (マゾフシェ県), 教育スポーツセンター, ul. Kwiatowa 28

詳細: <http://kyudo.pl>

本資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やお勧めのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまで御連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますので御了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先Eメールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のEメールアドレスまで御連絡ください。大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

本資料に関する問い合わせ E メールアドレス (newsmail@wr.mofa.go.jp)